

主に一般の方向けの講座を「市民公開講座」、主に専門職者向けの講座を「公開セミナー」として開催しています。詳細は大学ホームページに順次掲載します。インターネットまたはFAXでお申し込みください。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

市民公開講座

① 認知症に関する講座

テーマ | 認知症を予防しよう(全3回)
日程・第1回 2014年9月 4日(木)「認知症とは?」
講師 | 聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター長 磯貝 聡 氏
第2回 2014年9月 6日(土)「認知症予防:手作業をする、頭を使う」
本学リハビリテーション学部 助教 建木 健
第3回 2014年9月11日(木)「認知症予防の最近の話題:アロマテラピー」
本学看護学部 助教 村松 美恵
時間 | 13:30~15:00 ※1回だけの参加でも結構です
対象 | 認知症予防に関心のある一般市民の方
定員 | 各回50名程度
場所 | 聖隷クリストファー大学

② モチベーションに関する講座(仮)

日時 | 2014年11月1日(土)※聖灯祭同日 13:00~14:15
講師 | 一般社団法人アスリートソサエティ 代表理事 為末 大 氏
(陸上競技400mHシドニー・アテネ・北京五輪日本代表)
対象 | 一般市民の方
定員 | 200名(予定)
場所 | 聖隷クリストファー大学
共催 | リハビリテーション学部10周年記念事業・聖隷クリストファー大学同窓会

参加申込み ※申込み開始は講座開催日の約2ヶ月前からです。

インターネットからの申込み 保健福祉実践開発研究センターホームページ → 公開セミナー・市民公開講座
http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/ 画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

FAXからの申込み FAX. 053-439-1406
氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・職業(勤務先)・申込講座名をお知らせください。

公開セミナー

① リーダーシップに関する講座

テーマ | 対人援助の現場でいかにリーダーシップを磨こう!
日時 | 2014年6月14日(土) 13:30~16:30
講師 | コミュニケーション・ホーム喜舎
代表 生利 喜佐男 氏
(医療分野専門人材育成コンサルタント)
対象 | 主に保健・医療・福祉の専門職の方
定員 | 100名
場所 | 聖隷クリストファー大学

② IPW(専門職連携)に関する講座

テーマ | 発達障がいを持つ人達の思春期、青年期の
心理的支援・生活支援・就労支援
~多職種連携による地域支援ネットワークの展望~
日時 | 2014年7月26日(土) 13:30~16:30
講師 | NPO法人障害者支援情報センター
理事長 進藤 義夫 氏
対象 | 主に保健・医療・福祉の専門職の方
定員 | 100名
場所 | 聖隷クリストファー大学

著書紹介

日本における作業療法の現代史
対象者の「存在を肯定する」作業療法学の構築に向けて
生活書院 2013年3月

「存在を肯定する」作業療法へのまなざし
なぜ「作業は人を元気にする!」のか
三輪書店 2014年6月



著者:リハビリテーション学部 作業療学科 准教授 田島 明子

本書は、作業療法が国家資格化した1965年以降、現代までの、主に作業療法に関する雑誌を紐解き、その現代史を記述したものである。歴史を辿ることで未来を見据えることができるという意図があった。「(対象者の)存在を肯定する」はキーワードだが、これには「できること」の価値を相対化する目的がある。「できること」を目指すのがリハビリテーションだが、障害を持つとは「できない」身体を生きることでもある。「できないこと」の価値を否定しない作業療法学は成

り立つか、そのために作業療法学に何が必要かを考えた。2014年6月には続編が出版された。立岩真也氏(社会学者)、熊谷晋一郎氏(小児科医)らそうそうたる執筆者による共著本となった。障害を生きる身体を肯定するための社会や他者との付き合い方、作業と人とのつなぎ方、障害の身体を肯定した先にある作業との関わりを通した身体の快適さや生きる力の在り処、能力との出会い方について書かれている。

学報へのご意見・ご感想をお寄せください

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えております。ご協力お願い申し上げます。

学報アンケート
→ http://blg.seirei.ac.jp/d/
携帯電話からもアクセスできます



学報 Vol.43 2014年6月
SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY REPORT

発行者 聖隷クリストファー大学 http://www.seirei.ac.jp
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406

聖隷クリストファー大学

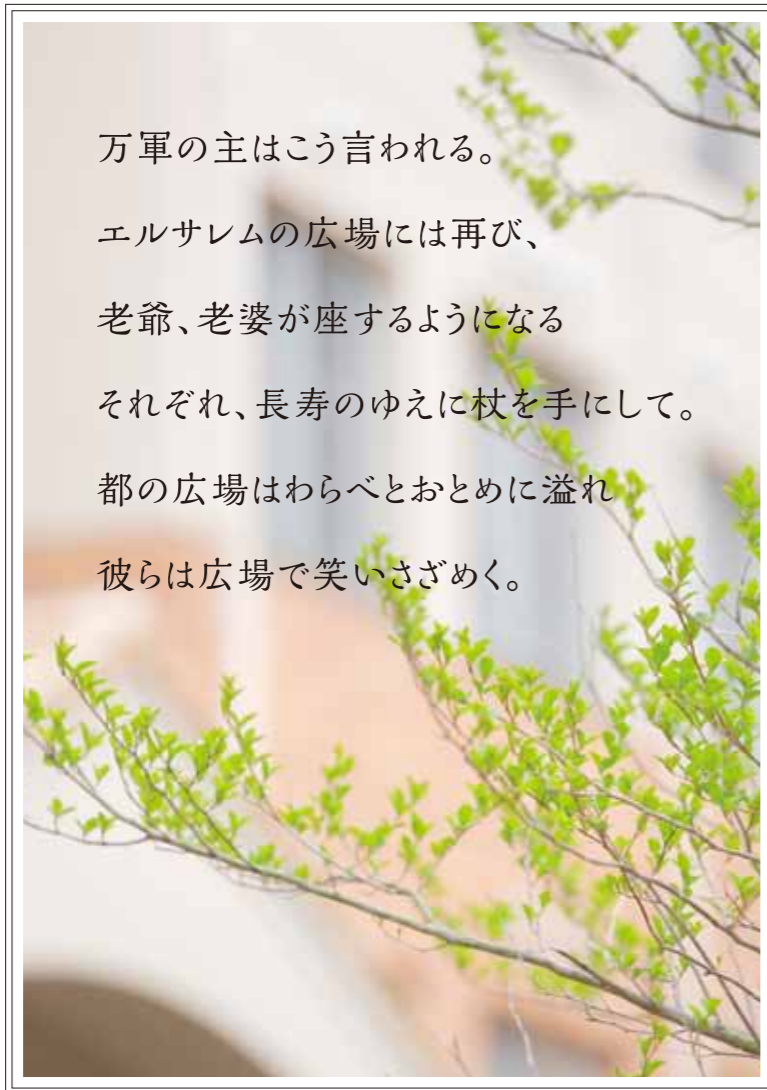
学報



contents
1 聖書のことば
2 [特集]上級生・教員との交流を深める
新入生セミナー
5 就職支援
7 クリストファーニュース/国際交流レポート
8 キャンパススケジュール
9 聖隷学園だより

11 私の教育・研究
12 新任教員の紹介
13 後援会から
14 学友会から
裏表紙 公開講座のご案内/著書紹介

聖書のことば



万軍の主はこう言われる。
エルサレムの広場には再び、
老爺、老婆が座するようになる
それぞれ、長寿のゆえに杖を手にして。
都の広場はわらべとおとめに溢れ
彼らは広場で笑いさざめく。

— ゼカリヤ書 8章 4-5節 —

キリスト教センターの窓越しに中庭へ目をやる。薫風の中、学生たちが行き交う。教職員が急ぎ足に建物に入っていく。院内保育園児たちが芝生の上や木立の中を走り回る。ホスピスのお方か、看護師と共に車いすでゆっくりと進まれる。早足で通り過ぎていくのは、老人ホームのご夫婦か、立腰の姿勢が力強い。朝には小鳥たちも庭に下り立つ。それを狙う珍客・白黒斑のどら猫もここを生活の領域にしているらしい。散歩の途中か、ベンチに腰を下ろし、休息される翁媪もおられる。病院実習へ向かう学生たちの実習服姿が凛々しい。

バビロン捕囚から解放されたイスラエルの民は何よりもまず、エルサレム神殿の建設に励んだ。その完成が近づいてくる中、神殿の広場には多くの老若男女が集っていたのである。人々は、神の民としての信仰に立ち帰っていくのであった。礼拝の中心に存在しているものは、犠牲の献げ物でもなければ祭儀でもなく、ただ信仰の^{よこ}喜びと歓声が満ちていた、と聖書は告げている。

新しい年度の歩みの始めに当たり、三方原のキャンパスに集う兄弟姉妹のすべてが、喜びに満たされ、感謝をもって日々の歩みが続けられるようにと祈る。

聖隷学園宗教主任 永井 英司

特集
新入生セミナー
FRESHMAN SEMINAR

毎年4月に新入生を迎えるにあたり、初年次教育の一環として「新入生セミナー」を開催しています。
学生同士や教員との交流を通して、新入生が大学生活にスムーズに馴染んでいけるよう、上級生が企画・運営の中心となって準備をしています。今回は2014年度「新入生セミナー」の様子をご紹介します。



特集
新入生セミナー

各学部の新入生に、セミナーの感想や将来の希望などを聞きました。



全員でハイチーズ!



大盛り上がり
障害物リレー!

看護学部 | 4/2 大学構内 | 4/5 浜北総合体育館グリーンアリーナ



てしま ゆうか
手島 夕嘉さん 看護学部看護学科1年次生

Q1. 新入生セミナーはいかがでしたか?

とっても楽しかったです! 先輩方から学生にしか分からないことを教えていただいた良い機会でした。私も新入生セミナー担当委員になりたいと思いました。

Q2. 将来どのような専門職者になりたいですか?

いくつになっても目標を持ち、努力をし続ける看護師になりたいです。

Q3. 学生生活の中で楽しみにしていることは何ですか?

サークル活動や授業などを通して、多くの人と仲良くなることです。そして、自分のなりたい看護師の専門分野を学んでいけることです。



上級生からの
ためになるお話★



先生も一緒に
借り物競走!



白熱した
移動玉入れ!



中庭で青空ランチ



社会福祉学部 | 4/23 大学第一体育館



みずぐち ゆめ
水口 優芽さん 社会福祉学部社会福祉学科1年次生

Q1. 新入生セミナーはいかがでしたか?

高校の時と比べて親しみやすい先輩方や先生方が多く、優しい方ばかりで、有意義で楽しい一日となりました。

Q2. 将来どのような専門職者になりたいですか?

人が嫌がることも率先してできるような、頼られる人になりたいです。

Q3. 学生生活の中で楽しみにしていることは何ですか?

さまざまな行事やサークル活動などに積極的に参加して、いろいろな人と交流することです。



上級生の熱演に
盛り上がる会場!



みんなが一丸となった
ウォークラリー!

4/23 静岡県立森林公園 森の家 | リハビリテーション学部



先生も参加の
楽しい余興!

たかはし みき
高橋 美紀さん リハビリテーション学部言語聴覚学科1年次生

Q1. 新入生セミナーはいかがでしたか?

普段は交流を持つことが難しい先輩方や、他の学科の人たちもお話しができたので、とても良い経験になりました。

Q2. 将来どのような専門職者になりたいですか?

コミュニケーションがうまく取れないお子さんに、言葉で思いを伝える喜びを与えられる言語聴覚士になりたいです。

Q3. 学生生活の中で楽しみにしていることは何ですか?

専門分野の講義と実習です。講義の内容はとても難しいですが、夢に近づいていることが実感できるのでとても楽しいです。



上級生によるサークルの
紹介など様々なイベントが
行われました♪



4/4 大学第一体育館 | 学友会主催による3学部合同の新入生歓迎会



2013年度卒業生の就職状況

2013年度卒業生の就職率は、100%です。看護学部の就職者は看護師が120名、保健師が7名、養護教諭が6名でした。進学者は全員助産師学校で、そのうち11名は本学の助産学専攻科に進学しています。こども教育福祉学科の就職者は主に幼稚園教諭・保育士になり、さらに聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園に1名が就職しました。保育・児童支援員として福祉施設にも就職しています。

	卒業者(名)	就職者(名)	進学者(名)	就職率※
看護学部	146	133	12	100%
助産学専攻科	17	17		100%
社会福祉学部	社会福祉学科	28	1	100%
	介護福祉学科	15		100%
	こども教育福祉学科	40	1	100%
リハビリテーション学部	理学療法学科	34		100%
	作業療法学科	40		100%
	言語聴覚学科	22		100%

※「就職率」は、就職希望者に占める就職者の割合をいいます。(2014年3月末時点)

4年次生の就職状況(速報)

4年次生の就職活動が始まりました。社会福祉学部では聖隷福祉事業団から14名、天竜厚生会から7名、看護学部・助産学専攻科では13名の学生が内定をいただきました。

就職支援行事は4月の土曜日に学内説明会を行いました。看護学部は、12日に静岡県・愛知県三河地区の22病院、19日に聖隷の10病院、社会福祉学部は26日に20施設をお呼びしました。リハビリテーション学部は8月に行います。

採用試験は希望職種、設置母体、規模などで時期が異なります。他の学生の就職活動を見て焦る必要はありませんので、保護者の皆様は学生の就職活動を温かく見守っていただければ幸いです。

各学部の就職委員の先生方よりメッセージをいただきました

看護学部



就職副部長・准教授
くろの ともこ
黒野 智子

Q1 看護学部の就職状況や学生の動向について教えてください。

看護師、助産師の求人は毎年2万人以上寄せられ、学生は希望する施設に就職可能な状況にあります。保健師は、その年度によって県や市町村の募集の有無が異なりますが、昨年度も7名が保健師として就職しました。また、昨年度は、養護教諭課程を選択したはじめての学年が卒業し、この春から6名が養護教諭として働いています。

Q2 学生の就職活動について、保護者の皆様にご存知の事をお聞かせください。

病院に就職希望の方は就職する病院を選べるからこそ、希望する病院にはどのような特徴があるのか、看護職としてどんな将来像を描くのか、じっくり考えることをお勧めします。病院の雰囲気や働いている看護師の様子を知り、いいなと思う特徴がみつけれられるか、各病院で実施しているインターンシップ制度を利用して“肌で感じて”みてください。

今年度から、3年次の春 semester で『キャリアデザイン』という科目が始まります。看護の専門性についての学びを深めながら専門看護師や認定看護師などへの道も視野に入れて、自己と向き合い、自分はどのような看護職を目指し、どのようにキャリアを積み上げていけばよいのかを考えていきます。

リハビリテーション学部



就職部長・教授
しんぐう なおひと
新宮 尚人

Q1 リハビリテーション学部の就職状況や求人状況等について教えてください。

リハビリテーション学部では、求人状況はどの学科も良好で、医療領域に留まらず福祉領域からもニーズがあります(求人倍率:理学療法学科16.0倍、作業療法学科16.5倍、言語聴覚学科29.3倍)。そのため、具体的な就職活動は一般企業の就職活動とは大きく異なり、臨床実習を終える4年次生の8月頃より始まります。

Q2 学生の就職活動に、保護者の皆様にご存知の事をお聞かせください。

本学では、低学年から就職ガイドブック、キャリアブックレットなどの配布や、学内病院説明会(8~9月頃)、卒業生による就職講演会(11月頃)の開催など、関係者や先輩からの生の声を聞く機会を設けることで、4年間の学びの中で自身のキャリア形成を考える機会としています。

学生時代は、人間としても大きく成長する時期です。小さなことでも役割を担い、責任を果たすことで、人に信頼される体験をします。その結果として自尊心が育ち、さらに向上しようという良循環が生まれ、それが豊かな人生の基盤になるのではないのでしょうか。

大学における上記のような機会を活用し、時々、ご家庭で就職についての会話を持っていただき、その過程の見守りをいただければ幸いです。

社会福祉学部



就職副部長・教授
さかもと みちこ
坂本 道子

Q1 社会福祉学部の就職状況や学生の動向について教えてください。

社会福祉学部では、毎年、就職希望者100%の就職率を収めています。就職先は、聖隷福祉事業団はじめ聖隷関連施設や、天竜厚生会・七恵会・八生会など近隣の福祉法人、公務員、医療関係、公立・民間保育園、幼稚園、一般企業です。それぞれ、学生が希望する職種・地域で、就職し活躍しています。

Q2 学生の就職活動に、保護者の皆様にご存知の事をお聞かせください。

就職活動を通して、学生は「自分」を問われます。「自分」のやりたいことは何か、大事にしたいことは何か、長所や短所は何か、大学で学んだことは何か、そういう「自分」をどうアピールするか…。エントリーシートを書きながら悩み、就職試験を受けながら揺れ動きます。このような学生に対し、大学では教員や就職センターの職員などが、学生に寄り添いながら「自分探し」の試行錯誤を応援しています。今後も、ご家庭でのお話合いも反映しながら、足並みそろえて一緒に学生を支援したいと存じます。ご意見をお寄せいただけますようお願いいたします。

2014年度入学式を行いました

4月3日、アクトシティ浜松中ホールにて、2014年度入学式を執行了しました。今年度は、看護学部156名、リハビリテーション学部99名、社会福祉学部107名、助産学専攻科17名、看護学研究所12名、リハビリテーション科学研究科14名、社会福祉学研究所8名の計413名の新入生が入学しました(編入生を含む)。



入学生のことばでは、社会福祉学部介護福祉学科の宮阪友梨さんが「利用者さんにもっと生きていきたいと思っていただけるような介護福祉士になりたい」と抱負を述べました。また、入学式の前後に保護者ガイダンスおよび後援会総会を行い、多くの保護者の皆様にご出席いただきました。

全学防災訓練を実施しました

近い将来に発生することが懸念されている東海地方の大規模地震に備え、本学では毎年4月に全学生・教職員対象の防災訓練を実施しています。今年度は4月4日に実施しました。

90分にわたる訓練のうち、前半は講義形式の防災オリエンテーションを行い、「地震発生時の避難方針」、「避難器具や消火器具の使用法」、「安否情報システムANPICの操作方



法」などについて確認を行いました。後半は、震度6強の大地震が発生したとの想定のもと、避難行動のシミュレーションを行い、大地震発生の際にはどの様に行動するかについて学びました。

今年度より、在学生の人員点呼を教職員と協力して行う「防災リーダー」を在学生の中から選出しています。現段階では、年に1回、人員点呼の実施訓練や搬送訓練を計画しています。今後はこの「防災リーダー」を中心として、学生個々の防災・減災意識が高まっていくことを期待しています。

安否情報システム「ANPIC」

本学では昨年度より、安否情報システム「ANPIC」の運用を開始しています。このシステムはサーバーが米国にあるため日本国内での震災の影響を受けないなど、優れた最新の機能を有しています。「全国各地で震度6弱以上」の大地震が発生した場合、全学生・教職員に、自動的に安否確認メールが配信されます。このメールに添付されているURLをクリックし、「安否状況」、「現在地」を入力するだけで簡単に安否を報告することができます。

保護者の皆様は、大地震発生の際、学生の安否情報を検索して閲覧することができます。ログイン画面上の検索窓に「氏名または氏名のよみ」を入力するだけで検索が可能です。

「ANPIC」ログイン画面へのアクセス方法



https://anpic1.jecc.jp/seirei/をパソコンのアドレスバー(画面左上)に入力してください。
※キーワード検索窓に入力しても開きません。

大地震発生の際、こちらに氏名を入力すると安否状況の確認ができます。

携帯電話の場合は、QRコードからログイン画面にアクセスできます。



本学「Dramaサークル」の学生が 浜松市青少年の表彰「善行賞」を受賞しました

3月19日、浜松市役所にて、浜松市青少年問題協議会主催「浜松市青少年の表彰」の表彰式が行われました。本学の演劇サークル「Dramaサークル」が「善行賞」に選ばれ、鈴木康友浜松市長より表彰を受けました。

「Dramaサークル」は、聖灯祭での演劇発表だけでなく、全学生を対象とした薬物使用の恐ろしさを伝える講習会を演劇でサポートする活動も継続して行っています。また、聖隷クリストファー中・高等学校の特別授業においても、こころの病気について理解向上のための寸劇を披露するなど、幅広い活動が認められました。

写真左から、山本さん(こども教育福祉学科)、古橋さん(言語聴覚学科)、狩野さん(言語聴覚学科)、家本さん(社会福祉学科)



研修参加者の声

うちやま みほ
内山 美保さん
リハビリテーション科学研究科 博士前期課程2年次生

「初めての海外研修で、言葉が思うように通じないことの不安や言いたいことを自由に言えないもどかしさを感じました。その一方で、単語や身振りでも何とか伝えられることの喜びも感じました。

この経験から、コミュニケーションに問題を抱えている患者さんの気持ちを少し感じることができました。また、ハワイ大学の学生さんはプロフェッショナルになるという意識が高く、授業への参加姿勢やクリニックでのセラピーなどとてもレベルの高いものでした。自ら学ぶ姿勢を改めて持ちたいと感じました。」

ハワイ大学生との交流会



いとう ちさ
伊藤 千紗さん
リハビリテーション学部 言語聴覚学科3年次生

「スピーチクリニックでハワイ大学の学生さんのセッションを見学し、自分もこのような素晴らしいセッションができる言語聴覚士になりたいと思う気持ちが強くなりました。英語が片言な私たちに対する傾聴態度も見習いたいと思いました。」



大城学部長も参加して行われた修了式

CAMPUS SCHEDULE

キャンパススケジュール

- 4/ 2 [水] 新入生オリエンテーション・在学ガイダンス(4日まで)
- 3 [木] 入学式
- 4 [金] 防災訓練
- 5 [土] 看護学部新入生セミナー
- 7 [月] 春semester授業開始
- 12 [土] 大学院オリエンテーション・ガイダンス
- 23 [水] 社会福祉学部・リハビリテーション学部 新入生セミナー
- 29 [火] 授業日(昭和の日)
- 5/ 1 [木] 創立記念日
- 2 [金] 昭和の日振替休日
- 6 [火] みどりの日振替休日
- 7/ 5 [土] **社会福祉学部 保護者懇談会**
- 21 [月] 授業日(海の日)
- 25 [金] 春semester授業終了
- 28 [月] 春semester定期試験(8月1日まで)
- 8/27 [水] 春semester追・再試験(29日まで)
- 9/24 [水] 春semester卒業式・修了式
- 25 [木] 秋semester授業開始
※秋semesterガイダンスは必要事項のみ時間割で行います。
- 10/11 [土] **リハビリテーション学部 保護者懇談会**
- 13 [月] 授業日(体育の日)
- 25 [土] **看護学部 保護者懇談会**
- 31 [金] 1~3限は授業、4限以後聖灯祭等準備
- 11/ 1 [土] 聖灯祭・ホームカミングデー
- 3 [月] 授業日(文化の日)
- 24 [月] 授業日(勤労感謝の日振替休日)
- 12/17 [水] クリスマス礼拝
- 23 [火] 冬期休業(1月5日まで)
- 1/26 [月] 秋semester授業終了
- 27 [火] 秋semester定期試験(1月27~30日・2月2日)
- 2/24 [火] 秋semester追・再試験(26日まで)
- 3/10 [火] 卒業式・修了式、卒業パーティ

聖隷クリストファー中・高等学校

看護学部養護教諭課程履修の学生が中・高等学校で実習を行いました



将来、養護教諭を目指す看護学部の学生による中・高等学校の身体計測などの実習が昨年度より本格化しています。この実習は、養護教諭への適性を学生自身が考えることができる貴重な

時間になっています。

先日実施した新入生の身体計測では、20名の看護学部の学生は事前に養護教諭との綿密な打ち合わせの後、視力検査・身長・体重などの計測を通して直接生徒と接しました。初めは思うように生徒に必要な事項を伝えられずにいた学生も、計測が終わる頃にははっきりと生徒に必要な事項を伝えることができるようになっていました。実際の現場に立つことで多くの事を学んでいるように思います。あわせて計測終了後は、生徒のデータを入力し、統計処理を通して生

徒の身体状況の把握など保健室の仕事が多岐にわたっていることも学びました。

この実習は、身体計測のほか歯科検診・内科検診などでも行われ、教育実習前の学生の貴重な体験となっています。



高等学校で語学研修を実施しました

2013年度より、「バランスのとれた高い英語能力取得」と「異文化理解」を目的とした3ヶ月の語学研修をスタートしました。参加者は、出発前から英語特別授業・オンラインでのレッスンで基礎力を鍛えてから各地に出発。一般家庭でホームステイをしながら、大学キャンパス内の語学学校にて、レベル別少人数クラス

で週30レッスン、合計300時間の英語学習をし、英語4技能(Reading Speaking Writing Listening)をバランスよく学びます。

初年度は、1年生英数科生徒4名が参加しました。研修後の感想は、「実力アップの実感がある。家族に感謝したい!」というものでした。「優秀生徒」とし

て語学学校から表彰された生徒もいました。英語力アップを得ただけでなく、ホストファミリーとの生活、大学での学校生活、課外活動、他国出身の友達との出会いなど、貴重な経験をして帰国しました。

2014年度研修については、2015年1月3日～3月30日の日程で実施します。

学生が周辺施設の方々と交流しました

学園周辺には老人福祉施設など、聖隷グループの施設が数多くあります。これまでも大学のサークルや中・高等学校の部活動が施設に出向き演奏を披露するなど、学園と各施設との交流を図ってきました。昨年度はさらに交流を深めることを目的とし、職員が学園と近隣施設とのコラボレーション企画をいくつか提案いたしました。その中で、現在進行中の「学園周辺お散歩マップ制作企画」を

ご紹介します。

昨年秋頃、ご高齢者と接することが大好きでイラストが得意な学生にお散歩マップ制作の協力を呼び掛けました。その企画に対して申し出てくれた学生たちと浜名湖エデンの園の入居者の方々と交流会の場を設け、入居者の方々からお散歩マップに記載する情報をお聞きしました。大きな地図を机に広げ、毎日のようにお散歩に行っているという方々



学生と入居者の方々と交流会の様子

聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長 太田 雅子
 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部こども教育福祉学科長・教授 太田 雅子

こども教育福祉学科4年次生がプレ実習を行いました



社会福祉学部こども教育福祉学科の4年次生は、最後の実習となる4週間の幼稚園実習を前に、その準備段階として4月9日から5月9日まで、こども園でのプレ実習を行いました。3名ずつのグループに分かれ、ひつじ組新入園児のクラスを担当しました。初めて親と離れて過ごす子どもたちが多く、とにかく不安で泣いている子どもたちが安心して

て過ごせるように、また好きな遊びを見つけれられるようにと、懸命に関わっていました。着替えの手伝いやトイレに連れていくことなど、一人ひとりと丁寧な関わりをする中、子どもたちとの絆が作られる喜びを感じ取ったようです。また子どもたちの言葉に耳を傾け、個々の気持ちに寄り沿った関わりの大切さを学んでいました。

イースター礼拝・たまご探しをしました

4月18日にイースター=復活祭の礼拝を行いました。イースターはイエスキリストが十字架で死なれ、三日目に復活したことを祝う日です。シンボルは多産のうさぎ「イースターバニー」と生命のはじまりを意味する「たまご」などです。こども園でもたまご探し(エッグハント)をして祝いました。朝早くから保護者ボランティアの方がゆでたまごを装飾してラッピングをする作業をしてくださいました。礼拝後に、それらを隠し、子どもたちは探して見



つけ出す遊びをしました。一旦見つけても、また隠して別の場所を探し、見つけた時のうれしい気分を何度も味わって

いました。中にはなかなか見つけれられない子もあり、友だちと一緒に探してくれる姿も見られました。

お配りし、皆様にご活用いただきたいと考えています。今後も引き続き、積極的に周辺施設の皆様とより深い交流を目指してまいります。

学生によるお散歩マップの下書き



から、「この交差点からは富士山がきれいに見えるよ」「秋には美味しい梨がここで販売されているよ」といった様々な情報を、身振り手振りを交えて教えていただきました。学生たちはもちろ

んのこと、お話しされていた入居者の皆様のお顔もとても楽しそうに嬉しそうにみえました。

「学園周辺お散歩マップ」は、今年度完成後、近隣施設の方々に随時



「最後の時までその人らしい暮らしを支える 福祉専門職者の養成」

社会福祉学部長・教授 よこお えみこ
横尾 恵美子

- 学歴：
国際医療福祉大学大学院
医療福祉学専攻科博士課程(医療福祉学博士)
- 主な所属学会：
日本介護福祉学会、日本社会福祉学会、
日本介護経営学会、日本自立支援介護学会、
日本生活支援学会 他

Q1 先生の学びのきっかけと 専門分野について教えてください。

私は物心ついたころから、教師になりたかったので大学は教育学部に進み、数学の教員免許と聾学校の教員資格を取得しました。福祉とは全く縁のない生活をしてきましたが、父親の介護のために教員を辞めることとなり、特別養護老人ホームの介護職として働くことになりました。40歳直前に介護の世界に入り、それが第二の学びのきっかけでした。人の生活を支えるという日々の営みを、その人の価値観に添いながら支援していくことに大きな喜びを感じました。大学時代はあまり真面目ではなかった私が、働きながら学ぶことの楽しさを知った瞬間でした。学んで、理解して、実践をすると、生活支援(介護技術も含み)が上手に提供できるようになり結果が見えるのが楽しくて学び続けました。その後大学院で博士課程を修了し、今も高齢者福祉や介護福祉領域の教育実践や研究を続けています。

Q2 大学院ではどのような学びが できますか？

社会福祉学研究科では、社会福祉実践分野において指導的な役割を果たすことができる優れた専門性と研究能力を備えた高度な専門職業人の育成を目指しています。介護福祉領域においては、社会福祉施設等におけるソーシャルワークや介護福祉の実践に着目し、実践から学び研究として、実践理論を進化させ、それにより高度な実践力を身につけていくことを目指しています。

具体的には、大学院生は各自がテーマとしている課題の解明に向きあい、研究計画を立て、研究遂行していきます。

その過程において教員の指導や大学院生同士の議論、先行研究の探求など、新たな知見を導き出す研究は、そのプロセスを通して大変心が弾むものです。



大学院生との講義の様子

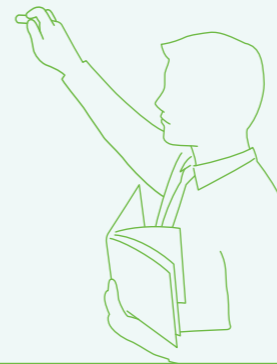
Q3 現在取り組まれている 研究や活動について教えてください。

介護施設の運営や人材育成の研究を領域としています。介護福祉士たちはやりがい求めて介護施設で働いていますが、「やりがい」を見つけれないことや人間関係で悩んだり、管理職(上司)の福祉運営理念に疑問を感じたりして離職をしています。介護職員が「やりがい」をもって働き続けることができるように介護職員の人材育成に関する研究と「働きやすい職場」環境構築のために、管理職の役割の強化と確かな組織改善力を育成するための研究を行っています。

また認知症高齢者や知的障がい者等の判断能力が十分でない人たちでも安心して地域で暮らしていけるように、成年後見制度を普及・啓発・活用するためのNPO法人を立ち上げ活動しています。

新任教員の 紹介

- ①出身校 ②前任校・前勤務先
③専門分野 ④メッセージ



助産学専攻科
くぼた きみえ
久保田 君枝 教授

①愛知淑徳大学大学院コミュニケーション研究科博士後期課程単位取得後退学②浜松医科大学③助産学・母性看護学④助産師を目指して頑張っている学生の皆さんのモチベーションを大切に、夢の実現に向けて一緒に前進していきましょう。“隣人愛の実践者となれますように”



看護学部(在宅看護学)
たなか ゆみ
田中 悠美 助教

①聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科博士前期課程②本学看護学部準教員③在宅看護学④在宅看護には看護師として成長できるだけでなく、自分の人生を豊かにする出会いがたくさんあります。皆さんと在宅看護の面白さを共有していきたいです。



看護学部(老年看護学)
ないとう ともよし
内藤 智義 助教

①浜松医科大学大学院医学系研究科修士課程②豊橋創造大学③老年看護学④高齢者は、これまで私たちの社会を支えてきてくれた人生の大先輩です。長い人生で培ってきた高齢者の英知と一緒に学びましょう!



看護学部(老年看護学)
まつもと ゆか
松元 由香 助教

①青山学院大学大学院社会情報学研究科博士前期課程②東京医療保健大学③老年看護学④老年看護学について学生の皆さんと学びあい、その魅力を共有していただけることを楽しみにしています。



助産学専攻科
みつわ よしこ
三輪 与志子 助教

①浜松医科大学大学院医学系研究科修士課程②浜松市医師会看護高等専修学校③助産学・母性看護学④新しい命が授かり、人が育っていく。この不思議で素敵なことに携わることができると大変幸せに感じています。学生の皆さんと一緒に成長し続けていきたいと思っています。



社会福祉学部 社会福祉学科
むらた てつやす
村田 哲康 社会福祉学科長・教授
①フィリピン女子大学大学院社会事業学校修士課程②四国学院大学③社会福祉学④アラゴン(フランスの詩人)は「教えるとは希望を語ること 学ぶとは 誠実を胸にぎざむこと」と言っています。よい時間の共有を願っています。



社会福祉学部 介護福祉学科
ふるかわ かずとし
古川 和稔 教授

①国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士後期課程②宇都宮短期大学③介護福祉学、福祉人材育成④介護福祉士、理学療法士、社会福祉士としての知識と経験を活かし、人間性豊かな専門職を育てることを目指しています。楽しく学んでいきましょう!



社会福祉学部 社会福祉学科
かわむかい まさひろ
川向 雅弘 准教授

①明治学院大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得満期退学②横浜市社会福祉協議会③社会福祉学(高齢者福祉、障害者福祉、ソーシャルワーク)④約30年の実践経験を生かしていきたいと思っています。学生の皆さんに「現場感覚」をイメージしてもらおう事が目標です。ともに学んでいきましょう。



社会福祉学部 介護福祉学科
さの ひとみ
佐野 仁美 助教

①聖隷クリストファー大学社会福祉学部社会福祉学科、聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程②浜松ゆうゆうの里③介護福祉学④慣れ親しんだ母校で学生の皆さんと一緒に学び続けていきたいと思っています。よろしくお願いたします。



社会福祉学部 子ども教育福祉学科
すずき まきこ
鈴木 まき子 助教

②浜松市立幼稚園園長および園長会長③幼児教育④「生まれてきた子は、みんな幸せに」と願って幼児と暮らしてきました。この幸せを学生の皆さんにお伝えし、幼児教育の面白さや今日的な課題解決について共に学んでいきたいです。



リハビリテーション学部 理学療法学科
たなか まき
田中 真希 助教

①国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修士課程②東京慈恵会医科大学附属柏病院③運動器系理学療法④医療専門職を目指す学生の皆さんが持っている無限大の能力を引き出す教育を実践し、共に成長していきたいです。よろしくお願いたします。

後援会から

4月3日に2014年度後援会総会が開催され、下記のとおり2013年度決算および2014年度予算が承認されました。

科目	項目	2013年度決算	2014年度予算
収入の部		(単位:円)	
入会金・会費	入会金	3,462,500	3,672,500
	会費	27,400,000	28,680,000
利息	預金利息	5,114	20,000
前年度繰越金		7,722,999	5,196,570
収入の部合計		38,590,613	37,569,070
支出の部		(単位:円)	
教育活動 振興援助費	新入生セミナー援助	927,722	1,170,000
	実習交通費宿泊費等の補助(看護学部)	1,499,984	1,500,000
	実習宿泊費補助(リハビリテーション学部)	1,600,000	1,600,000
	学外学会等参加費補助(助産学専攻科)	49,997	80,000
	国家試験対策講座等に係る費用の補助	3,130,088	3,150,000
	学生相談室の運営に係る費用の補助	4,095,075	4,400,000
	健康診断に係る費用の補助	3,764,033	4,310,000
	健康管理センターの充実補助	200,235	150,000
	学生の自主活動に係る費用の補助	1,802,500	1,860,000
	学生食堂運営費、売店運営費の補助	4,454,160	4,300,000
福利厚生費	防犯・交通安全の啓発に係る費用の補助	170,000	170,000
	卒業記念品贈呈および卒業パーティ開催費	3,140,832	2,957,900
	学生用コピー機、印刷機費用の補助	1,259,845	1,300,000
	防災用備蓄品の購入補助	1,049,051	1,000,000
会員情報 提供費	大学報印刷費、発送費	1,291,243	1,500,000
	保護者懇談会の開催	526,918	750,000
施設設備費	学生福利厚生設備の充実費用	1,348,830	1,500,000
	学生駐車場防犯カメラリース料、大学周辺の防犯灯維持費 キャンパス内整備(学生ホール等)、備品の購入経費	85,839 2,572,435	116,000 1,500,000
総務費	慶弔費	20,000	50,000
	保護者満足度調査経費(郵送費)	322,272	350,000
	会費納付書等印刷費、郵送費	49,384	60,000
	役員会	33,600	50,000
予備費		0	3,745,170
次年度繰越金		5,196,570	0
支出の部合計		38,590,613	37,569,070

2014年度 後援会役員

会 長 榊原理砂
副 会 長 鈴木由美子、相原正浩、
渡辺泰宏(大学学生部長)
理 事 柏原栄作、増井悦子、大谷雅弘、
釘持 尚、小出紀久一、小木留美、
高松克式、池田しげみ
幹 事 中村憲司(大学総務部長)、
川野千佳(大学学生サービスセンター長)
会計監査 藪谷 淳、芦澤信之

2013年度 重点課題への対応

2013年度は特に、下記3点を重点課題に挙げ対応しました。

①2号館2階の学生ホールの整備

→2階学生ホールのテーブル、椅子を新たに設置することで、昼食時の混雑の緩和を図り、学生の憩いの場を増やしました。また、電源増設工事を行い、電子レンジをさらに3台購入、設置しました。

②保護者満足度調査で要望の高い事業の補助に配分

→看護学部・社会福祉学部で国家試験対策講座費用の補助を厚く配分しました。リハビリテーション学部は、学生の負担が年々増えてきている実習宿泊費の補助に厚く配分しました。

③キャンパス周辺の防犯灯の設置を継続実施

→保護者満足度調査などにて設置の要望の出ていました第二駐車場までの区間に2本の外灯を増設、また奥まっていた外灯(1本)の位置を道路沿いに移設しました。

学生会から

SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY GAKUYUKAI



2014年度学生会役員(右から3人目が会長の高橋さん)

学生会会長 ^{たかはし まり} 高橋 菜里(看護学部2年次生)

今年度、学生会会長に就任しました、高橋菜里と申します。

学生会は、主に4月4日に行われた新入生歓迎会を始めとした行事の運営をしています。行事の他にも、サークルや広報活動など、学生の皆さんの学生生活がよりよいものになるよう、日々活動しています。

今年度は、学生の皆さんにもっと学生会を身近に感じてもらうためにも、クラブ総会、定例総会での意見交換、球技大会の見直しを行い、皆さんが学生生活に満足できるよう、尽力したいと思っています。学生会一同、精一杯務めたいと思いますので、学生会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2014年度学生会関連行事

4/ 4(金)	新入生歓迎会
6/11(水)	定例総会
9/24(水)	9月卒業式(記念品)
10/11(土)	球技大会
11/ 1(土)	聖灯祭
12/17(水)	クリスマス祝会
3/10(火)	卒業式(記念品) 卒業パーティ(大学・学生会・後援会・同窓会共催)

2014年度学生会役員(任期2015年3月31日まで)

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	高橋 菜里	看護2	サークル	山本 藍	リハ2
副会長	片桐 明日香	看護2	サークル	鈴木 さくら	リハ2
会計長	小林 智美	リハ2	広報	神田 知佳	リハ2
会計	増田 春香	リハ2	広報	辻村 みのり	リハ2
会計	紅林 千晴	看護2	主務	川合 雄登	社福2
サークル長	佐藤 香南	看護2	主務	福田 翔太	社福2

※所属の欄の「2」は学年、「看護」は看護学部、「社福」は社会福祉学部、「リハ」はリハビリテーション学部

学生数

総数1,543名/男372名/女1,171名

2014年5月1日現在 ※()内は男子内数

看護学部	看護学科	1年次生	155(16)
		2年次生	151(14)
		3年次生	160(15)
		4年次生	169(23)
		計	635(68)
助産学専攻科		計	17(0)
社会福祉学部	社会福祉学科	1年次生	39(14)
		2年次生	35(17)
		3年次生	42(12)
		4年次生	43(15)
	介護福祉学科	1年次生	18(11)
		2年次生	14(3)
		3年次生	14(6)
		4年次生	23(10)
	こども教育福祉学科	1年次生	48(1)
		2年次生	47(11)
		3年次生	35(6)
		4年次生	40(6)
		計	398(112)
リハビリテーション学部	理学療法学科	1年次生	42(20)
		2年次生	34(16)
		3年次生	39(21)
		4年次生	35(19)
	作業療法学科	1年次生	37(16)
		2年次生	35(10)
		3年次生	32(9)
		4年次生	35(13)
	言語聴覚学科	1年次生	20(5)
		2年次生	24(3)
		3年次生	28(7)
		4年次生	22(7)
		計	383(146)
看護学研究科	博士前期課程	1年次生	6(0)
		2年次生	9(1)
	博士後期課程	1年次生	6(0)
		2年次生	7(0)
		計	45(2)
社会福祉学研究科	博士前期課程	1年次生	3(2)
		2年次生	5(3)
	博士後期課程	1年次生	5(4)
		2年次生	2(0)
		3年次生	7(2)
			計
リハビリテーション科学研究科	博士前期課程	1年次生	11(8)
		2年次生	13(10)
	博士後期課程	1年次生	3(2)
		2年次生	4(4)
		計	43(33)

2014年度に新たに就任した役職者

看護学部	学部長 山下 香枝子 教授
社会福祉学部	社会福祉学科長 村田 哲康 教授
	介護福祉学科長 中村 京子 教授
学生部長	渡辺 泰宏 社会福祉学部 教授
図書館長	鮫島 道和 看護学部 教授

後援会会長就任挨拶

^{さかきばら りさ} 榊 原理砂

今年度、後援会会長を務めることとなりました榊原です。保護者の皆様や大学の諸先生方・後援会役員の方々のご協力を賜り、精一杯努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

後援会は、大学と協力し、学生の皆さんへの教育活動の援助などの事業を実施しています。昨年度は、学生ホールの整備や学園周辺の防犯灯の増設、防災用品の充実などを行いました。これからも、学生の皆さんが卒業される時に「聖隷クリストファー大学で学ぶことが出来て良かった」そんな声がたくさん聞かれるよう、後援会としてできる限りのことをしていきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましては、これからの活動についてご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

保護者の皆様へお知らせ

「2013年度保護者満足度調査結果報告書」を本誌に同封してお送りいたしました

2013年度保護者満足度調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきました多くのご質問・ご要望に対し、すべてではございませんが本学からの回答を掲載しております。ぜひ一読いただけますようお願いいたします。

今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので引き続き、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2014年度保護者懇談会開催のお知らせ

2014年度保護者懇談会を右記の日程で開催いたします。保護者懇談会は、保護者の皆様にご協力いただき、教育環境の現状等についてお話を聞いていただくほか、お子さんの学業や学生生活、就職、健康面などについて教職員と直接お話いただけるプログラムとなっています。詳細が決定次第、ご案内状をお送りいたしますのでこの機会にぜひご来学いただければ幸いです。

学部	日程
社会福祉学部	7/ 5(土)
リハビリテーション学部	10/11(土)
看護学部	10/25(土)